

エコアクション21 環境経営レポート

2023 年度

活動期間

2023 年4月1日 ～

2024 年3月31日

日研テクノ株式会社

発行：2024年9月15日

環 境 経 営 方 針

◎ 企業理念

- 当社は、「精密部品加工」の提供を通じ、社会に貢献することを目指し、環境経営の継続的改善を図ります。

◎ 環境経営方針

- 「原材料の効率的使用」を目指します。
- 社外からの情報を早くに収集し、得た情報は社内で共有します。

◎ 環境への取組重点分野

- 「精密部品加工」における事業活動に伴う環境に大きな影響を与えている環境配慮への取組内容及び取組状況を継続的に評価し、維持活動を行います。
- 環境関連法規等を遵守します。

1	組織の概要	-----	-1-
2	対象範囲	-----	-1-
3	環境経営定性目標	-----	-2-
	(2023 年度 ~ 2027 年度)		
4	本年度 環境経営計画	-----	-3-
	(2023 年度)		
5	本年度 環境定性目標の実績と達成状況の評価	-----	-4-
	(2023 年度)		
6	本年度 環境活動計画の取組結果と達成状況の評価	-----	-5-
	(2023 年度)		
7	次年度 環境活動計画	-----	-6-
	(2024 年度)		
8	次年度 環境経営定性目標	-----	-7-
	(2024 年度)		
9	環境経営定性目標の策定	-----	-8-
10	実施体制及び責任・権限表	-----	-9-
11	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	-----	-10-
12	代表者による全体評価と見直しの結果(継続的に評価及び継続的に見直し)	-----	-10-

1 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

事業者名	日研テクノ株式会社
代表者氏名	代表取締役 時岡隆一

(2) 所在地

神奈川県横浜市港北区新吉田町154

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	代表取締役 時岡隆一
環境管理担当者	小松 伸一
連絡先	神奈川県横浜市港北区新吉田町154

(4) 事業活動

精密部品加工

(5) 事業の規模

物質投入量	7.70 t	(コピー用紙＋金属材料＋梱包材)
従業員数	9 人	
床面積	165 m ²	

2 対象範囲

(1) 認証・登録番号

0001338

(2) 認証・登録事業者

日研テクノ株式会社
神奈川県横浜市港北区新吉田町154

(3) 事業活動

精密部品加工

(4) 対象事業所

本社

3 環境経営定性目標

(2023 年度 ～ 2027 年度)

		環 境 経 営 定 性 目 標					
	単位	定 性 目 標	年 度				
			2023	2024	2025	2026	2027
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	range ⇅ 17,500.00 12,152.78 target 14,583.33	17,500.00 12,152.78 14,583.33	17,500.00 12,152.78 14,583.33	17,500.00 12,152.78 14,583.33	17,500.00 12,152.78 14,583.33	17,500.00 12,152.78 14,583.33
電力使用量 排出係数(参考) 0.398 kg-CO ₂ /kg	kWh	range ⇅ 22,000.00 15,277.78 target 18,333.33	22,000.00 15,277.78 18,333.33	22,000.00 15,277.78 18,333.33	22,000.00 15,277.78 18,333.33	22,000.00 15,277.78 18,333.33	22,000.00 15,277.78 18,333.33
ガソリン 排出係数 2.32 kg-CO ₂ /L	L	range ⇅ 3,500.00 2,430.56 target 2,916.67	3,500.00 2,430.56 2,916.67	3,500.00 2,430.56 2,916.67	3,500.00 2,430.56 2,916.67	3,500.00 2,430.56 2,916.67	3,500.00 2,430.56 2,916.67
灯油 排出係数 2.49 kg-CO ₂ /L	L	range ⇅ 250.00 173.61 target 208.33	250.00 173.61 208.33	250.00 173.61 208.33	250.00 173.61 208.33	250.00 173.61 208.33	250.00 173.61 208.33
LPG 排出係数 3.00 kg-CO ₂ /kg	kg	range ⇅ 50.00 34.72 target 41.67	50.00 34.72 41.67	50.00 34.72 41.67	50.00 34.72 41.67	50.00 34.72 41.67	50.00 34.72 41.67
一般廃棄物排出量 (可燃・不燃ごみ)	kg	range ⇅ 850.00 590.28 target 708.33	850.00 590.28 708.33	850.00 590.28 708.33	850.00 590.28 708.33	850.00 590.28 708.33	850.00 590.28 708.33
水資源投入量	m ³	range ⇅ 90.00 62.50 target 75.00	90.00 62.50 75.00	90.00 62.50 75.00	90.00 62.50 75.00	90.00 62.50 75.00	90.00 62.50 75.00
金属洗浄剤使用量 (潤滑油製品)	kg	range ⇅ 450.00 312.50 target 375.00	450.00 312.50 375.00	450.00 312.50 375.00	450.00 312.50 375.00	450.00 312.50 375.00	450.00 312.50 375.00
グリーン購入(品目数) (商品購入率)	%	range ⇅ 10.00 6.94 target 8.33	10.00 6.94 8.33	10.00 6.94 8.33	10.00 6.94 8.33	10.00 6.94 8.33	10.00 6.94 8.33
金属廃材のリサイクル (目標:100%)	%	range ⇅ 100.00 69.44 target 83.33	100.00 69.44 83.33	100.00 69.44 83.33	100.00 69.44 83.33	100.00 69.44 83.33	100.00 69.44 83.33
情報共有(回覧等) (目標:100%)	%	range ⇅ 100.00 69.44 target 83.33	100.00 69.44 83.33	100.00 69.44 83.33	100.00 69.44 83.33	100.00 69.44 83.33	100.00 69.44 83.33

(定性目標:2022年11月～)

- ・ EA21を長年運用し、取組の改善が難しい状況になっています。
- ・ 定性的目標を検討策定し維持活動継続をします。
- ・ 定量的な策定を行わず、定性的な目標を策定し維持活動を行います。
- ・ 技術的、世界情勢の状況などによって削減が難しい状況になっています。そのため定量的な環境経営目標は行わず定性的な目標(2022年11月～)を策定し継続します。
- ・ 環境配慮の取組内容を継続し、その取組状況を継続的に確認し、維持活動(点検・確認)の継続を行います。
- ・ 定性的目標の導入について、使用量等の削減を直接目標とするものではありませんが、環境配慮の取組を行うことで、現状を継続的に確認し評価します。

4 本年度 環境経営計画
(2023 年度)

目 標	施 策 (活動内容等)
電力使用量の削減	・蛍光灯/蛍光管への順次切り替え実施 ・パソコン電源管理の維持 (Auto Power Off) ・エアコン温度設定最適化維持・管理 (COOLBIZ/WARMBIZ) ・加工不良の低減 ・窓部位への日よけ簾の施工
ガソリン使用量の削減	・低公害車・低燃費車の維持 (燃費基準達成車/低排出ガス車) ・アイドリングストップの実行 ・法定点検の実施 ・車種別運行ルート管理・実行
灯油使用量の削減	・灯油暖房とエアコン暖房の効果別利用 ・冬季早朝スポット暖房 ・室温温度管理
LPG使用量の削減	・過沸騰防止の実行 ・夏季⇒冬季のGWH使用温度管理 ・冬季⇒夏季のGWH使用温度管理
一般廃棄物	・一般廃棄物の分別 (可燃ごみ/不燃ごみ) ・コピー済用紙の裏面リサイクルコピー ・プリンター及びコピー機の設定変更維持
水資源投入量の削減	・配管水漏れチェック ・蛇口節水コマの継続 ・月別利用量の確認
金属洗浄剤使用量の削減 (潤滑油製品)	・化学物質管理促進法/労働安全衛生法/ 毒物劇物取締法/有機溶剤中毒予防規則の 非該当洗浄剤を使用し、使用量管理を継続維持
グリーン購入の拡大 (購入品目数)	・対費用効果を考慮して継続的にグリーン購入品目数の拡大展開
金属廃材のリサイクル (有価物) (目標:100%)	・金属スクラップを分別し、所定の容器に保管し完全リサイクル
情報共有 (目標:100%)	・情報の共有は、社内外に問わず必要と判断した場合には その情報を回覧及びミーティング等により共有。 (必要の応じ回覧等のドキュメント類はファイリングする。)

5 本年度 環境定性目標の実績と達成状況の評価

(2023 年度)

環境経営定性目標及び実績データより					
	単 位	定性目標 range ⇄ target	2023 年度実績	結 果	評 価 指 示 見 直 し
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	17,500.00 12,152.78 14,583.33	13,361.68	○	EA21活動の意義が社員全員に浸透し、継続できた結果だと思います。次年度以降も継続的に取組たい。
電力使用量 排出係数(参考) 0.398 kg-CO ₂ /kWh	kWh	22,000.00 15,277.78 18,333.33	18,989.00	○	本年度も夏季の平均気温が高かったにもかかわらず、目標値に収まったのは、節電の意識が継続的に浸透していると思われます。
ガソリン 排出係数 2.32 kg-CO ₂ /L	L	3,500.00 2,430.56 2,916.67	2,430.91	○	ドライバー全員がエコドライブ運転を心がけたので、結果的に目標をクリアできたと、思われます。
灯油 排出係数 2.49 kg-CO ₂ /L	L	250.00 173.61 208.33	54.00	○	社員の健康管理のためにも、エアコン/灯油暖房を時間別に使い分けた。次年度以降も継続的に取組たい。
LPG 排出係数 3.00 kg-CO ₂ /kg	kg	50.00 34.72 41.67	30.84	○	GWHの温度設定管理が、社員全体に浸透し継続できた結果だと思います。次年度以降も継続的に取組たい。
一般廃棄物排出量 (可燃・不燃ごみ)	kg	850.00 590.28 708.33	492.00	○	EA21活動の意義が社員全員に浸透し、継続できた結果だと思います。次年度以降も継続的に取組たい。
水資源投入量	m ³	90.00 62.50 75.00	72.00	○	EA21活動の意義が社員全員に浸透し、継続できた結果だと思います。次年度以降も継続的に取組たい。
金属洗浄剤使用量 (潤滑油製品)	kg	450.00 312.50 375.00	345.40	○	金属洗浄剤は、潤滑油製品で化学物質には非該当であるため化学物質としての使用はない。
グリーン購入(品目数) (商品購入率)	%	10.00 6.94 8.33	12.74	○	対費用効果を考慮して継続的にグリーン購入品目数の拡大展開をしたい。次年度以降も継続的に取組たい。
金属廃材のリサイクル (有価物) (目標:100%)	%	100.00 69.44 83.33	本年度は、 金属廃材のリサイクルは なかった。	—	金属スクラップを分別し、所定の容器に保管し完全リサイクルをする。次年度以降も継続的に取組たい。
情報共有(回覧等) (目標:100%)	%	100.00 69.44 83.33	100.00	○	情報の共有は、社内外に問わず必要と判断した場合にはその情報を回覧及びミーティング等により共有している。

(定性目標:2022年11月～)

○: 達成
×: 未達

6 本年度 環境活動計画の取組結果と達成状況の評価

(2023 年度)

(1) 環境活動計画の取組結果と達成状況の評価

目 標	施 策 (活動内容等)	評 価	実 施 確 認
電力使用量の削減	・蛍光灯/蛍光管への順次切り替え実施 ・パソコン電源管理の維持 (Auto Power Off) ・エアコン温度設定最適化維持・管理 (COOLBIZ/WARMBIZ) ・加工不良の低減 ・窓部位への日よけ簾の施工	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
ガソリン使用量の削減	・低公害車・低燃費車の維持 (燃費基準達成車/低排出ガス車) ・アイドリングストップの実行 ・法定点検の実施 ・車種別運行ルート管理・実行	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
灯油使用量の削減	・灯油暖房とエアコン暖房の効果別利用 ・冬季早朝スポット暖房 ・室温温度管理	○ ○ ○	○ ○ ○
LPG使用量の削減	・過沸騰防止の実行 ・夏季⇒冬季のGWH使用温度管理 ・冬季⇒夏季のGWH使用温度管理	○ ○ ○	○ ○ ○
一般廃棄物	・一般廃棄物の分別 (可燃ごみ/不燃ごみ) ・コピー済み用紙の裏面リサイクルコピー ・プリンター及びコピー機の設定変更維持	○ ○ ○	○ ○ ○
水資源投入量の削減	・配管水漏れチェック ・蛇口節水コマ継続 ・月別利用量の確認	○ ○ ○	○ ○ ○
金属洗浄剤使用量の削減 (潤滑油製品)	・化学物質管理促進法/労働安全衛生法/ 毒物劇物取締法/有機溶剤中毒予防規則の 非該当洗浄剤を使用し、使用量管理を継続維持	○	○
グリーン購入の拡大 (購入品目数)	・対費用効果を考慮して継続的にグリーン購入品目数の 拡大展開	○	○
金属廃材のリサイクル (有価物) (目標:100%)	・金属スクラップを分別し、所定の容器に保管し完全 リサイクル	—	—
情報共有 (目標:100%)	・情報の共有は、社内外に問わず必要と判断した場合には その情報を回覧及びミーティング等により周知。 (回覧等のドキュメント類はファイリングする。)	○	○

○: 達成

×: 未達

7 次年度 環境活動計画
(2024 年度)

目 標	施 策 (活動内容等)
電力使用量の削減	・蛍光灯/蛍光管への順次切り替え実施 ・パソコン電源管理の維持 (Auto Power Off) ・エアコン温度設定最適化維持・管理 (COOLBIZ/WARMBIZ) ・加工不良の低減 ・窓部位への日よけ簾の施工
ガソリン使用量の削減	・低公害車・低燃費車の維持 (燃費基準達成車/低排出ガス車) ・アイドリングストップの実行 ・法定点検の実施 ・車種別運行ルート管理・実行
灯油使用量の削減	・灯油暖房とエアコン暖房の効果別利用 ・冬季早朝スポット暖房 ・室温温度管理
LPG使用量の削減	・過沸騰防止の実行 ・夏季⇒冬季のGWH使用温度管理 ・冬季⇒夏季のGWH使用温度管理
一般廃棄物	・一般廃棄物の分別 (可燃ごみ/不燃ごみ) ・コピー済用紙の裏面リサイクルコピー ・プリンター及びコピー機の設定変更維持
水資源投入量の削減	・配管水漏れチェック ・蛇口節水コマの継続 ・月別利用量の確認
金属洗浄剤使用量の削減 (潤滑油製品)	・化学物質管理促進法/労働安全衛生法/ 毒物劇物取締法/有機溶剤中毒予防規則の 非該当洗浄剤を使用し、使用量管理を継続維持
グリーン購入の拡大 (購入品目数)	・対費用効果を考慮して継続的にグリーン購入品目数の拡大展開
金属廃材のリサイクル (有価物) (目標:100%)	・金属スクラップを分別し、所定の容器に保管し完全リサイクル
情報共有 (目標:100%)	・情報の共有は、社内外に問わず必要と判断した場合には その情報を回覧及びミーティング等により周知。 (回覧等のドキュメント類はファイリングする。)

8 次年度 環境経営定性目標

(2024 年度)

		環境経営目標及び本年度実績データより		
	単位	定性目標	2023 年度 実績	2024 年度 定性目標
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	range ⇄ 17,500.00 12,152.78 target 14,583.33	13,361.68	17,500.00 12,152.78 14,583.33
電力使用量 排出係数(参考) 0.398 kg-CO ₂ /kg	kWh	range ⇄ 22,000.00 15,277.78 target 18,333.33	18,989.00	22,000.00 15,277.78 18,333.33
ガソリン 排出係数 2.32 kg-CO ₂ /L	L	range ⇄ 3,500.00 2,430.56 target 2,916.67	2,430.91	3,500.00 2,430.56 2,916.67
灯油 排出係数 2.49 kg-CO ₂ /L	L	range ⇄ 250.00 173.61 target 208.33	54.00	250.00 173.61 208.33
LPG 排出係数 3.00 kg-CO ₂ /kg	kg	range ⇄ 50.00 34.72 target 41.67	30.84	50.00 34.72 41.67
一般廃棄物排出量 (可燃・不燃ごみ)	kg	range ⇄ 850.00 590.28 target 708.33	492.00	850.00 590.28 708.33
水資源投入量	m ³	range ⇄ 90.00 62.50 target 75.00	72.00	90.00 62.50 75.00
金属洗浄剤使用量 (潤滑油製品)	kg	range ⇄ 450.00 312.50 target 375.00	345.40	450.00 312.50 375.00
グリーン購入(品目数) (商品購入率)	%	range ⇄ 10.00 6.94 target 8.33	12.74	10.00 6.94 8.33
金属廃材のリサイクル (目標:100%)	%	range ⇄ 100.00 69.44 target 83.33	本年度は、 金属廃材のリサイクルは なかった。	100.00 69.44 83.33
情報共有(回覧等) (目標:100%)	%	range ⇄ 100.00 69.44 target 83.33	100.00	100.00 69.44 83.33

(定性目標:2022年11月～)

9 環境経営定性目標の策定

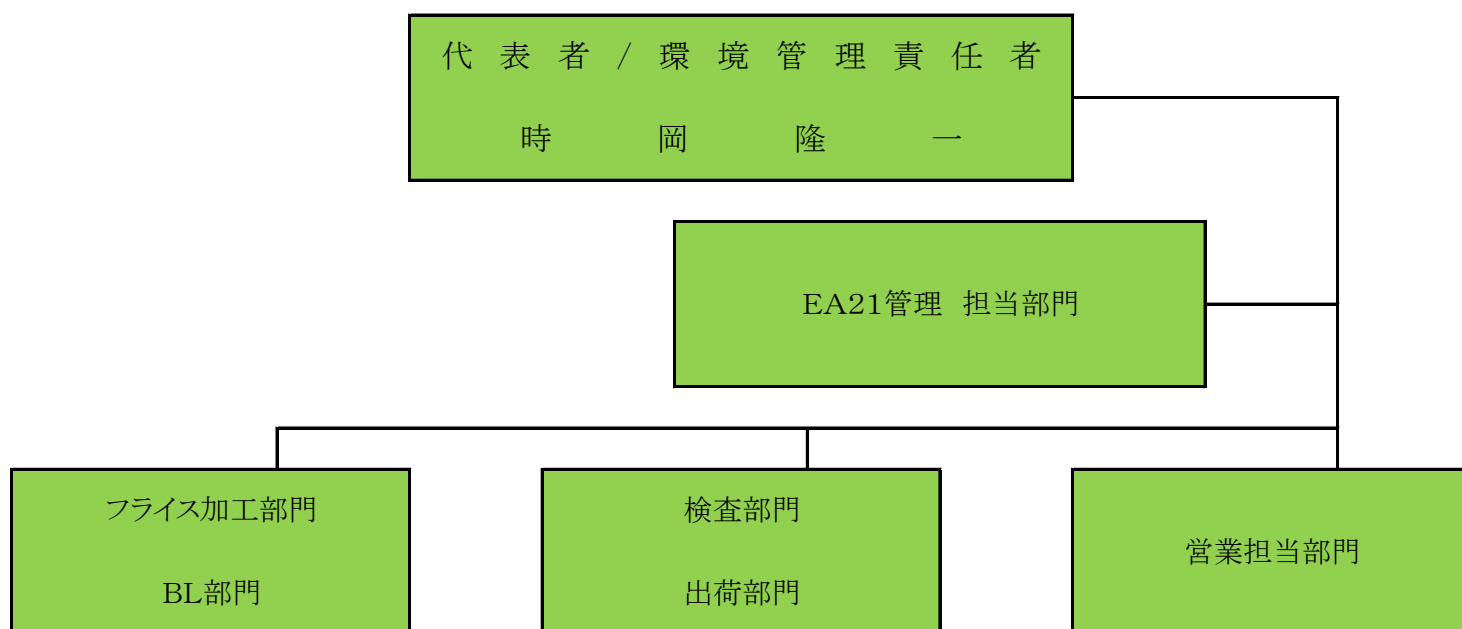
(2023 年度 ～ 2027 年度)

	単位	環境経営定性目標の策定	年 度				
			2023	2024	2025	2026	2027
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	range 17,500.00 }	17,500.00	17,500.00	17,500.00	17,500.00	17,500.00
		⇕ target ⇒ 14,583.33 }	14,583.33	14,583.33	14,583.33	14,583.33	14,583.33
		range 12,152.78 }	12,152.78	12,152.78	12,152.78	12,152.78	12,152.78
電力使用量 排出係数 (参考) 0.398 kg-CO ₂ /kWh	kWh	range 22,000.00 }	22,000.00	22,000.00	22,000.00	22,000.00	22,000.00
		⇕ target ⇒ 18,333.33 }	18,333.33	18,333.33	18,333.33	18,333.33	18,333.33
		range 15,277.78 }	15,277.78	15,277.78	15,277.78	15,277.78	15,277.78
ガソリン 排出係数 2.32 kg-CO ₂ /L	L	range 3,500.00 }	3,500.00	3,500.00	3,500.00	3,500.00	3,500.00
		⇕ target ⇒ 2,916.67 }	2,916.67	2,916.67	2,916.67	2,916.67	2,916.67
		range 2,430.56 }	2,430.56	2,430.56	2,430.56	2,430.56	2,430.56
灯油 排出係数 2.49 kg-CO ₂ /L	L	range 250.00 }	250.00	250.00	250.00	250.00	250.00
		⇕ target ⇒ 208.33 }	208.33	208.33	208.33	208.33	208.33
		range 173.61 }	173.61	173.61	173.61	173.61	173.61
LPG 排出係数 3.00 kg-CO ₂ /kg	kg	range 50.00 }	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		⇕ target ⇒ 41.67 }	41.67	41.67	41.67	41.67	41.67
		range 34.72 }	34.72	34.72	34.72	34.72	34.72
一般廃棄物排出量 (可燃・不燃ごみ)	kg	range 850.00 }	850.00	850.00	850.00	850.00	850.00
		⇕ target ⇒ 708.33 }	708.33	708.33	708.33	708.33	708.33
		range 590.28 }	590.28	590.28	590.28	590.28	590.28
水資源投入量	m ³	range 90.00 }	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		⇕ target ⇒ 75.00 }	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
		range 62.50 }	62.50	62.50	62.50	62.50	62.50
金属洗浄剤使用量 (潤滑油製品)	kg	range 450.00 }	450.00	450.00	450.00	450.00	450.00
		⇕ target ⇒ 375.00 }	375.00	375.00	375.00	375.00	375.00
		range 312.50 }	312.50	312.50	312.50	312.50	312.50
グリーン購入(品目数) (商品購入率)	%	range 10.00 }	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		⇕ target ⇒ 8.33 }	8.33	8.33	8.33	8.33	8.33
		range 6.94 }	6.94	6.94	6.94	6.94	6.94
金属廃材のリサイクル (目標:100%)	%	range 100.00 }	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		⇕ target ⇒ 83.33 }	83.33	83.33	83.33	83.33	83.33
		range 69.44 }	69.44	69.44	69.44	69.44	69.44
情報共有(回覧等) (目標:100%)	%	range 100.00 }	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		⇕ target ⇒ 83.33 }	83.33	83.33	83.33	83.33	83.33
		range 69.44 }	69.44	69.44	69.44	69.44	69.44

(定性目標:2022年11月～)

- ・EA21を長年運用していると、これ以上改善(削減)が難しい状況になってきている。
- ・代表者による評価と指示・見直しを経て環境経営定性目標の策定を行います。
- ・改善の余地(経済的に実行可能な範囲で最適な技術・対策)が出来るまで、
- ・定量的な策定を行わずに環境経営定性目標を策定し維持活動を行います。

10 実施体制及び責任・権限表



	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代 表 者	1 環境管理責任者の任命及び管理担当者の任命、実施体制の構築。 2 環境方針の制定及び全従業員への周知。 3 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備。 4 環境経営システムの定期的見直しの実施及び指示。 5 社内情報の外部公開可否決定。 6 企業理念及び事業活動との整合。 7 経営における課題とチャンス را踏まえる。 8 環境への取組の重点分野を明確にする。 9 環境経営の継続改善を誓約。 10 適用される環境関連法規などの遵守を誓約。
環境管理責任者	1 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善。 2 環境経営システムの実施状況確認。 3 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務運営。 4 それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施。 5 関連法規の取りまとめの維持管理、遵守徹底。 6 環境関連文書及び記録の作成・整理。
E A 2 1 管 理 担 当	1 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務。 2 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 3 推進機関であるEA21EMSの事務局担当者として事務運営。 4 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめの作成。 5 環境関連法規等取りまとめに基づく遵守評価の実施 6 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成。
各 部 門 担 当 者	1 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練実施、及び自部門に関連する環境活動計画の実施及び継続維持。 2 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の継続維持。 3 特定された項目の手順書作成及び運用管 4 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全 従 業 員	1 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動。

11 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- ・環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反訴訟はありません。
- ・関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。
- ・外部からの苦情は過去3年間ありません。

・適用される環境関連法規等は、次の通りです。

適用環境関連法規	適用される事項
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例	事業系一般ごみ(分別ルールを守らない者に対する罰則(科料)制度)
廃棄物処理法	一般廃棄物
消防法	危険物第四類第二石油類 (灯油の保管量(1000L未満)) 危険物第四類第三石油類 (金属洗淨剤の保管量(2000L未満)) 保管量は 1/5以下のため非該当
横浜市生活環境の保全等に関する条例	事業所における公害の防止等(非該当)
フロン排出抑制法	所有者ではなく使用者による管理点検
横浜市生活環境の保全等に保全に関する条例	自動車の駐車時における原動機の停止等
労働安全衛生法	労働者の安全と衛生についての基準

12 代表者による全体評価と見直しの結果(継続的に評価及び継続的に見直し)

(1) 全体評価

- ・環境問題に対しては、一人一人が意識し継続的に取り組まなければなりません。
- ・2007年以降EA21の取組を行い、その時から全従業員が重要性の自覚を高めます。
- ・従来から省エネルギー、廃棄物削減と適正処理への対応など環境保全への取組を継続しています。
- ・2007年エコアクション21認証・登録以来、目標の達成状況、計画の実施状況の、主要な環境活動は概ね実施継続できてきています。
- ・環境方針に大きな差異はないが、環境方針に呼応し、代表者の継続的改善に向け熱い思いを維持し、社員が一丸となって環境システムの充実と取組を継続しています。
- ・今年度も、環境経営システムは有効に機能し継続に努めます。
- ・今後も、これまで以上に環境に対する意識を継続して、環境負荷削減に対する取組の継続に努めています。
- ・環境活動レポートの保管は5年間とします。

(2) 環境経営方針への反映

- (「環境経営目標」「環境経営計画」「環境経営目標の実績と達成状況の評価」「環境活動計画」)
- ・自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮
 - ・ユーザーにより製作・梱包・納品形態の仕様が定められています。原材料の調達段階や廃棄物処理段階等において環境負荷低減に配慮しています。

- ・金属洗浄剤は、潤滑油製品で化学物質には非該当であるため化学物質としての使用はありません。
- ・情報の周知は、社内外に問わず必要と判断した場合には、その情報を回覧及びミーティング等を継続し共有しています。
(必要の応じ、回覧等のドキュメント類はファイリングしています。)
- ・ユーザー指定の加工条件を満たし、継続する事が絶対条件となっています。
(指定納期、納品形態、コスト、指定納入先等)
- ・「原材料の効率的使用」及び「加工品製造における廃棄物の削減」を目指し継続しています。

(3) 見直しの結果

- ・EA21を長年運用し、取組の改善が難しい状況になっています。
- ・環境配慮の取組内容を継続し、その取組状況を継続的に確認し、維持活動の継続を行っています。
- ・経済的に実行可能な範囲で最適な技術を選定します。
- ・代表者による評価と指示・見直しにて策定します。
- ・見直し時に改善の余地の有無等を検討し、代表者が判断した上で定性的目標を策定します。
- ・計画実施体制の大きな見直し及び変更はありません。
- ・2018年度よりエコアクション21ガイドライン 2017年版にともない、「環境経営方針」の見直しを継続しています。

(4) 定性目標への取組(2022年11月～)

- ・定性的目標を検討策定し維持活動継続をしています。
- ・定量的な策定を行わず、定性的な目標を策定し維持活動を行っています。
技術的、世界情勢の状況などによって削減が難しい状況になっています。
そのため定量的な環境経営目標は行わず定性的な目標を策定し継続しています。
- ・定性的目標の導入について、使用量等の削減を直接目標とするものではありませんが、環境配慮の取組を行うことで、現状を継続的に確認し評価します。
- ・定量的な環境経営目標の策定は行わず、定性的な目標を策定し、環境配慮の取組内容を決め、その取組状況を定期的な確認するなど、維持活動(点検・確認)を行います。

(要求事項6 解説より)